

令和4年 新年号

仙台市 農業委員会だより

編集と発行 仙台市農業委員会
 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022(214)4308(直通)
 FAX 022(215)5803

発行日 令和4年1月1日



仙台市農業委員会 または で検索



昨年秋の稲刈り風景(秋保地区) 撮影・編集委員 柴田市郎



謹賀新年

仙台市農業委員・農地利用最適化推進委員一同



仙台市農業委員会
会長 佐々木 均

明けましておめでとうございます。
 農業者の皆様には、日頃から農業委員会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、一昨年からの世界的な新型コロナウイルス感染症拡大は、我が国の経済に大きな影響を及ぼしています。特に、外食産業の営業自粛による農産物の消費減少は、食料消費や販売に暗い影を落としています。

このような状況の中、本市の基幹作物である米の概算金が大幅に下落し、農業を取り巻く状況はますます厳しくなっています。

一方、国内の新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がり、治療薬の開発も進んでいると伺っており、今後の経済活動の拡大に期待しているところです。農業委員会としても農業者の利益をしっかりと守るべく活動し、遊休農地の発生防止・解消や、担い手への農地の集積・集約化など、皆様のご協力をいただきながら、農地利用の最適化を推進してまいります。

最後に、新型コロナウイルス感染症の早期の収束と皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



議論が白熱する青葉・泉ブロック

地域振興委員会を開催しました

令和3年10月19日(火)～10月29日(金)にかけて、「青葉・泉」、「宮城野・若林」、「太白」の三つのブロックに分かれ、農業委員、農地利用最適化推進委員が参加して地域振興委員会を開催しました。

今回は、農業委員会から仙台市に対し提出予定の「農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」に盛り込む内容の方向性を探るため、日頃農業者から寄せられている意見の紹介や、要望等の具体的な内容についての意見交換を行いました。

「米価下落とイノシシ被害でますます後継者がいなくなっているため、対策が必要である」、「農地を売りたいという相談が年々増え

ており、担い手に集積させるための支援を求めている」等、今後の農業が懸念される厳しい現状とそれに対する施策の充実を求める農業者の声が、各委員から多く報告されました。

昨年7月に任命・委嘱された新任委員からも新たな課題が提示され、ブロック毎に終始活発な議論が行われました。

寄せられた内容を意見書に反映させていくため、更に協議を重ねていきます。

新任農地利用最適化推進委員研修会を開催しました

令和3年10月22日(金)に、新任農地利用最適化推進委員を対象に研修会を開催しました。

農地の最適化推進活動の基礎となる「農地法」と「農業振興地域制度」の知識を習得し、今後の地域活動に役立てていきます。

女性農業者と農業委員との意見交換会を開催しました

令和3年12月6日(月)に、J A 仙台七郷支店で女性農業者と農業委員との意見交換会を開催しました。参加者からは「新規就農者が入りやすい環境作りが必要」、「女性部員を増やし活性化させたい」など、貴重なご意見をいただきました。



令和4年度農作業標準料金の設定について

令和4年度の農作業受委託の目安となる農作業標準料金を1月に設定し、J A 仙台の広報紙「J A せんだい」2022年3月号に折り込む予定です。また、仙台市農業委員会のホームページにも掲載しますのでご覧ください。

事務課 振興係
電話 214-4353

農地法第3条の許可実績

令和3年7月から10月までの農地法第3条(売買・賃借等)の許可実績は次のとおりです。

区	月	7月		8月		9月		10月		計	
		件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
青葉		3	10,990	3	19,262			1	2,516	7	32,768
宮城野		2	515	1	1,028			1	17,074	4	18,617
若林				4	8,623			4	28,756	8	37,379
太白		1	5,709	2	2,954	4	3,134			7	11,797
泉		3	4,512	5	986					8	5,498
計		9	21,726	15	32,853	4	3,134	6	48,346	34	106,059

令和3年農地賃借料情報

令和3年1月から12月までに締結した賃借料水準の平均額は次のとおりです。

この情報は目安ですので、実際に農地賃借をする場合は、対象農地の状況等を考慮し、お互い協議のうえ賃借料を設定してください。

1. 田 (10a当たり・単位:円)

地域及び区分		農用地区域	左記以外
平坦地域	宮城野区	11,400	10,500
	若林区	12,000	12,000
	太白区	9,700	9,800
	泉区	5,700	5,000
中山間地域	青葉区	6,600	6,700
	太白区		
	泉区		
仙台市平均		10,100	10,200

2. 畑 (10a当たり・単位:円)

地域及び区分	農用地区域	左記以外
仙台市平均	5,000	11,300

※中山間地域：青葉区(宮城、茂庭、折立)、太白区(茂庭、坪沼、秋保)、泉区(実沢、小角、西田中、根白石、福岡、朴沢)
 ※農用地区域：農業振興地域の整備に関する法律に定める農用地区域

○農地の売買、賃借などの権利移動
 農地の所有権移転や賃借権を決定する場合には、農地法第3条の許可が必要です。相続で取得した農地も届出が義務付けられています。

○農地の転用
 農地を農地以外の用途に転用する場合は、農地法第4条または第5条の許可が必要です。また、市街化区域内の農地も届出が必要です。

農地の売買、賃借、相続、転用などは許可や届出が必要です

○農地改良工事(高さを変えたり、畦畔除去を行う場合等)
 水はけが悪いため盛土したい、農地転用を目的としない農地の形質を変更する工事等を行う場合には、事前に届出が必要です。

その他の申請及び届出については、農業委員会事務局、またはお近くの農地利用最適化推進委員や農業委員会にお問い合わせください。

事務課 農地係
 電話 214-4340
 【申請書・届出書様式ダウンロードサービス】



売渡 あっせん 希望農地 一覧

農業振興地域の農用地区域内において、農地の経営規模の拡大、集団化等農用地保有の合理化を図るため、「農地の移動適正化あっせん事業」を行っています。あっせん事業による農地の買受申出ができる方は、「認定農業者」もしくは「仙台市内で130アール以上耕作している方」です。売渡あっせん希望農地(下表)について買受希望がありましたら事務局にお問い合わせください。

令和3年12月6日現在

区	所在地		地目	面積(m ²)	希望価格(万円/10a)	区	所在地		地目	面積(m ²)	希望価格(万円/10a)	区	所在地		地目	面積(m ²)	希望価格(万円/10a)
	大字	小字					大字	小字					大字	小字			
青葉	芋沢	田尻	畑	1,000	100	若林	揚場	田	3,701	500	荒浜	五枚下り	田	2,473	250		
	大倉	西田	田	866	100			梅ノ木	田	1,050		240	南長沼	田	3,251	230	
	下愛子	戸内前	田	2,251	100		神屋敷西	田	1,334	150	柳生	田中	田	1,000	4,500		
宮城	昭和西	田	2,061	500	川田		田	1,176	400	前原西		田	8,366	130			
		田	1,695	500	川戸東		田	4,476	250	上原	田	1,359	150				
	昭和南	田	2,062	400	切新田		田	1,725	220	小角	堤下	田	2,746	270			
		畑	505	300	境東		田	2,227	750		明神	畑	1,094	50			
	大正	田	1,100	400	瀬戸川北		田	459	120	上谷刈	長命	田	3,804	500			
		田	997	100			田	489	120		君が代	田	2,826	200			
	野	中土手	田	1,525	300		藤田西	田	1,399	240	根白石	八千代	田	4,052	200		
蒲生		中通	田	3,059	300	四ツ谷南	田	1,747	120	福岡		泉	田	5,924	300		
小鶴		新境	田	1,441	250	田	800	120	松森	陣ヶ前	田	4,935	250				
鶴ヶ谷	金堀	田	712	200	荒浜	石場	田	1,440	300								

※仙台東地区は場整備事業地区内にある農地(七郷地区を除く)については、現在換地処分に伴う登記閉鎖中であるため、掲載しておりません。

あっせん希望農地の詳しい情報をお知りになりたい方は、事務局農地係(電話214-4340)まで。ホームページでもご覧いただけます。

農地移動適正化あっせん事業 仙台市 [検索](#) クリック



あなたの出番です

泉区野村にお住まいの

渋谷 典子さん

にお話しを伺いました。



Q 漬物などを販売していると伺いましたが、きっかけは何ですか？

A 父が栽培した野菜の規格外品の有効利用と、漬物作りの先輩が作った美味しい漬物を家庭だけで消費しているのは勿体ないと感じたのがきっかけです。

Q 出店先と販売品目は？

A JA仙台の直売所「たなばたけ」や勾当台公園で開催している「旬の香市」等、各種マルシェに草餅や季節の漬物を出しています。きゅうりの辛子漬け、らっきょう漬け、梅干しなど昔

ながらの味わい深い品物が特に人気です。

Q 大変なことは何ですか？

A 作りたいた漬物と消費者のニーズが違うことと、味にムラが出ないように分量を正確に計らないといけないことです

Q 良かったことは何ですか？

A 自分が作ったものを美味しいと言っていただけで、自分のやっていくことが間違っていないと感じることができました。また、農業者と話す機会があり、多くの人と知り合いになれたことで、活動範囲が広くなりました。

Q 楽しみや好きなことは何ですか？

A 商品化を考えず、自由に自分の好きな漬物を作ること、楽しいことを想像したり、友達とおしゃべりをする。また、音楽を聴いたり、動物と遊ぶことが好きです。

Q 今後の目標は？

A もっと技術を向上させて、美味しい商品を安定供給することです。量よりも、高い品質の農産物加工品を作り、買っていただいた方に「美味しい」と言ってもらえるように頑張りたいです。

(聞き手…編集委員 若生 宏明)

区域活動報告

(青葉区 宮城地区)

宮城地区では農業委員2名、農地利用最適化推進委員4名のメンバーで活動をしています。

担当する区域内を対象に、月一回の農地パトロールと農地の利用状況、農業に関する情報交換等をJA仙台宮城支店の会議室をお借りして行っています。

特に、仙台市西部地区においては遊休農地が増加しているため、個別の作付けの状況や災害による農地の被害状況などを主な課題としながら情報交換をし、少しでも遊休農地の発生を予防・解消するよう心がけています。

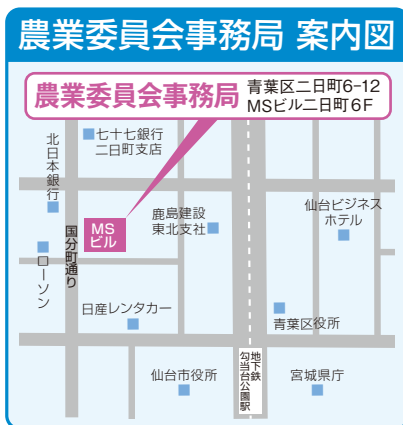
また、宮城地区では担い手不足と農家の高齢化が深刻化するなど中山間地域特有の課題が山積しているのが現状です。そのような中で、大倉日向地区では17haのほ場



整備事業が施工中であり、農地の集積・集約に期待が高まっています。条件不利農地のままでは遊休農地の増加は避けられないことから、宮城地区内のモデル事業として注目しています。

今後とも、市農政部門の方と協力し、地域の合意形成に向けた支援活動を行っていききたいと思っております。

(編集委員 小野寺 潔)



※駐車の際は、市役所本庁舎の来庁者用駐車場をご利用ください。電話 214-4308

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症により米の消費量が減ったうえに、価格も安くなるなど、大変な一年でした。今年こそは新型コロナウイルス感染症が収まり、良い年になるように願っています。

(公報編集チーム長 松原 菊男)